



*説明書は必ず読んでください。
*いつでも読めるところに保管してください。

大型粉末消火器 取扱説明書

■対象消火器■

YA-50S

注意!危険防止について。
消火器はすべて国家検定に合格していますが、設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、誤った取扱いなどによって事故が発生する場合があります。
この『取扱説明書』の「危険・警告・注意」の事項は必ず守り、身近な防災機器として、いつでも使用できる状態にしておいてください。



ヤマトプロテック株式会社

消火器は圧力容器です。



危険

死亡または重傷にいたる状況を示す。

サビ・キズ・変形・キャップのゆるみのあるものは、絶対に使用しないでください。
容器の破裂等により重大な人身事故発生の恐れがあります。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある状況を示す。

- 人に向かって絶対に放射しないでください。
 - 呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。
- 法で定められた点検を定期的に行ってください。
- 製造年から8年の耐用年数を過ぎたものは使用しないでください。
 - 耐用年数を過ぎた消火器は、事故につながる恐れがあります。



注意

軽傷または中程度の障害、また
物的損害の発生のみが予測される状況を示す。

- 設置場所は高温多湿のところは避けてください。
 - 使用温度範囲内の場所に設置してください。直射日光の当たるところや寒冷すぎるところに設置すると機能を十分に発揮させることができません。また、湿気を避けたり、直射日光を防ぐために消火器格納箱や設置用保護袋をかぶせるようにしてください。
- 消火器は初期消火の器具です。
消火範囲に限りがあります。
- 火元に近すぎるとヤケドの恐れがあります。
 - 距離をおいて消火活動をしてください。
- 消火器を廃棄する場合は
必ず販売店か製造元にご相談ください。
 - 古い消火器をゴミとして捨てないでください。
 - 圧力容器である消火器を、古くなったからといって勝手に捨てるのは危険です。絶対に捨てないでください。

⚠火の中に投げ込まないでください。

消火器内の圧力が上昇して消火器が破裂します。

火災の時すぐ使うために



注意

⚠試し放射はしないでください。

試し放射後、そのまま設置されますと「イザ!」というとき使用できません。

⚠放射後はすぐ消火薬剤を詰め替えてください。

一度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰め替えてください。

*粉末消火薬剤は、固化せず、よく乾燥し、規定の質量がなければなりません。

*お求めになった販売店などの専門の業者か、当社営業所に詰め替えを依頼してください。

⚠6ヵ月に1回以上の点検をしてください。

使用するときには100%の能力を発揮できるよう、また永く効力を保持させるため、消防法施行規則第31条の第4項に基づき「6ヵ月に1回以上の点検」を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行ってください。

加圧用ガス容器は定期的に質量を計ってください。もし加圧用ガス容器記載の総質量より20 g以上減量している時は新しい加圧用ガス容器に取替えてください。
加圧用ガス容器は0.7L (CO₂ 450 g) を使用してください。

設置について

イザ!というときすぐに使えるよう、設置場所や条件について十分注意してください。



注意

⚠倒れないように設置してください。

簡単に倒れないように設置してください。

⚠物が落下しない場所に設置してください。

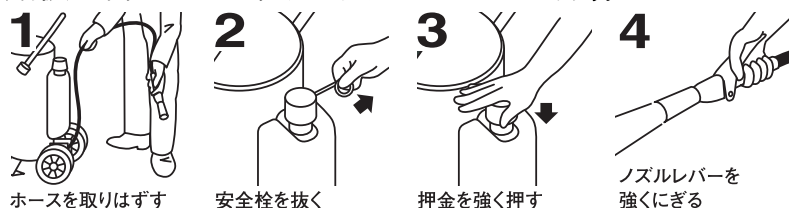
重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。

操作方法について

消火器の機能を発揮させるため、間違いのない操作をしてください。

⚠ 注意

⚠ 銘板に書いてある使用方法に基づいて操作してください。



⚠ 消火器を垂直にして使用してください。

使用時は、必ず消火器を垂直に立てた状態にしてください。

消火薬剤について

消火薬剤に毒性はありません。しかし大量に吸い込むと危険な場合がありますので、ご注意ください。

⚠ 注意

⚠ 目に入ったときは水で洗ってください。

消火薬剤が目に入ったときは、すみやかに水道水で洗い流してください。なお、充血したり、目に痛みを感じたときは、医師の診察を受けてください。

⚠ 放射後は清掃してください。

飛散した消火薬剤をそのまま放置しておくと、薬剤が湿気を帯びてカビが発生したり、金属類を腐食させることがあります。また、電気器具の絶縁を低下させますので、すみやかに清掃してください。

消火器の手入れについて

⚠ 注意

⚠ 使用後は必ず残存ガスを放出してください。

引き手を地面につくまで手前に倒し、ノズルレバーを握って、消火器内の残存ガスを放射してください。

●残存ガス放射は、同時にホース内の残存消火薬剤を放出して清掃する重要な操作で、これを怠ると正常に働かないことがあります。必ず行ってください。

⚠ ぬるま湯か水で汚れをふき取ってください。

消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジン）や洗剤は使用しないでください。

⚠ ネジなどをゆるめないでください。

消火器のキャップなどは、勝手にゆるめたりしないでください。

使用後の再充てんについて。

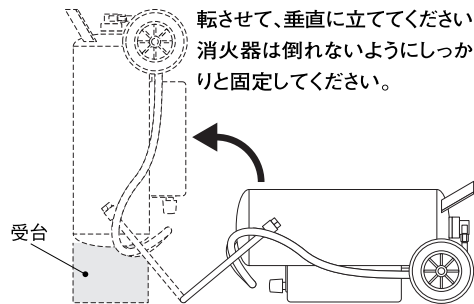
⚠ 注意

⚠ 使用後の再充てんは必ず有資格者によって行ってください。

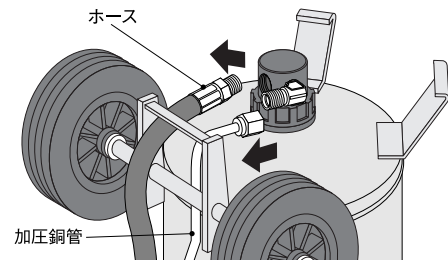
使用後の再充てんは、必ず有資格者（消防設備士）によって次の方法で行ってください。

粉末（ABC）20kgの再充てん方法および注意事項

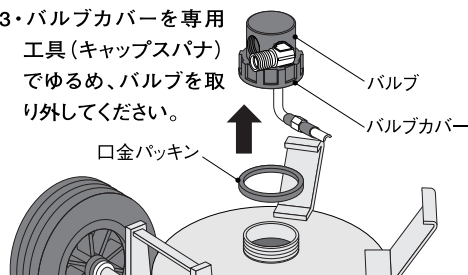
- 1・受台をセットして消火器を下の図のように90度回転させて、垂直に立ててください。消火器は倒れないようにしっかりと固定してください。



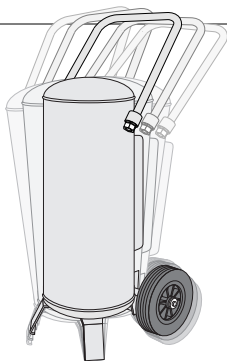
- 2・ホースと加圧銅管を工具でゆるめて外してください。



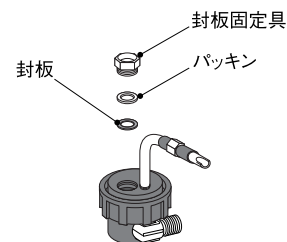
- 3・バルブカバーを専用工具（キャップスパナ）でゆるめ、バルブを取り外してください。



- 4・消火器を元に戻して容器をゆらしながら消火薬剤の残量を取り出してください。



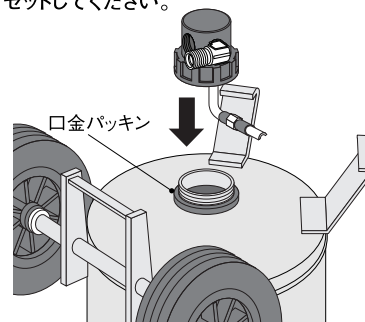
- 5・バルブの封板を交換してください。



- 6・残っていた消火薬剤をすべて取り出してから、消火器をもう一度逆さまに立て直し、新しい薬剤を20kg 充てんしてください。

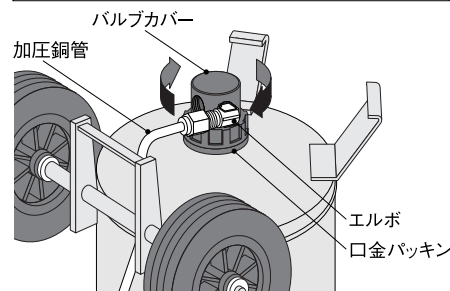


- 7・口金パッキンをセットし、封板を交換したバルブをセットしてください。

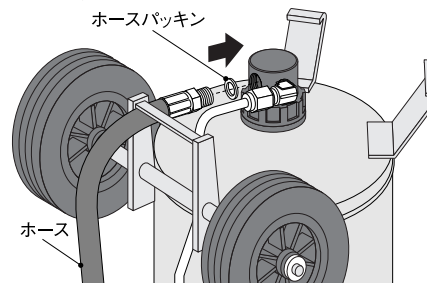


- 8・加圧銅管をエルボに手でねじ込み、位置を決めたあと、バルブカバーを専用工具（キャップスパナ）で締め付けてください。

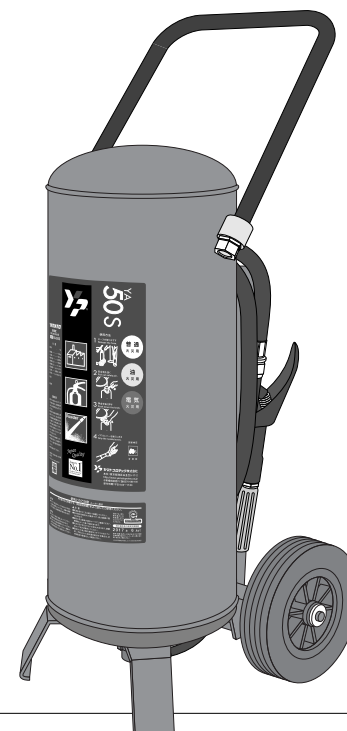
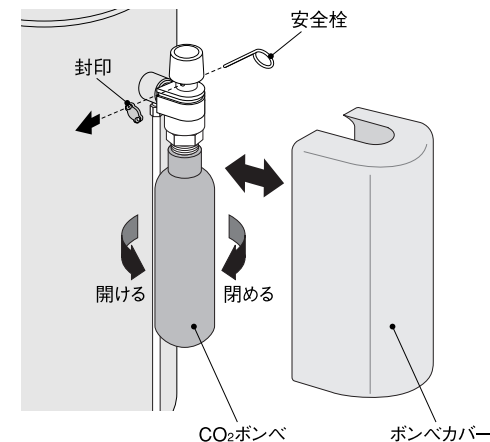
注：バルブカバーを締め付けるとき、口金パッキンがカバーに当たって抵抗がありますが、口金パッキンが動かないことを確認しながら強く締め付けてください。

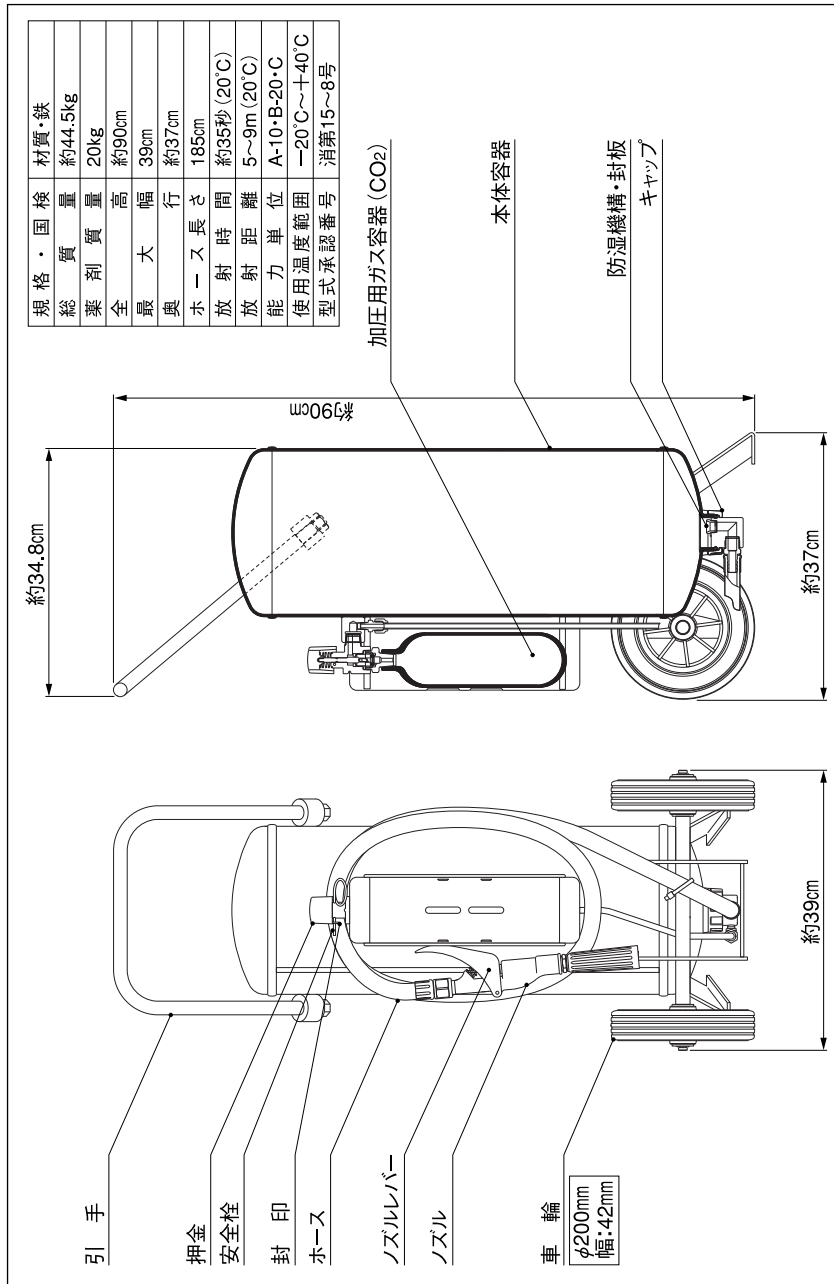


- 9・加圧銅管を工具で強く締め付けたあと、ホースパッキンをセットしてホースを取り付け工具で締め付けてください。



- 10・安全栓を差し、封印をセットしてください。ボンベカバーを外し、CO2ポンペを新しいものに取り替えてください。CO2ポンペは左ネジですので、ご注意ください。





ヤマトプロテック株式会社

ビル防災設備 プラント防災設備 避難警報設備 各種消火器

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160
大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802
名古屋支社 〒462-0032 名古屋市北区辻町5-58 TEL.052-914-2381・FAX.052-914-2435
札幌支店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
仙台支店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
横浜支店 〒241-0031 横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422
静岡支店 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
広島支店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
松山営業所 〒791-1102 松山市来住町1477-1 TEL.089-956-2101・FAX.089-956-1310
福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229
大阪工場 〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通2-2-38 TEL.072-361-5911・FAX.072-361-6370
東京工場 〒300-1312 茨城県稲敷郡河内町長竿道前1951 TEL.0297-84-4451・FAX.0297-84-4716
中央研究所 〒300-1312 茨城県稲敷郡河内町長竿道前1951 TEL.0297-84-4711・FAX.0297-84-4712
東京物流センター 〒136-0075 東京都江東区新砂1-13-9 TEL.03-5677-1497・FAX.03-5677-1498
リサイクルセンター 〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通2-2-38 TEL.072-361-7518・FAX.072-361-7519

●この商品についてのお問い合わせは、
ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ……

▶ナビダイヤル

0570-080100 *お客様相談窓口
受付時間・平日9:00~17:00
(土・日・祝・祭日を除く)